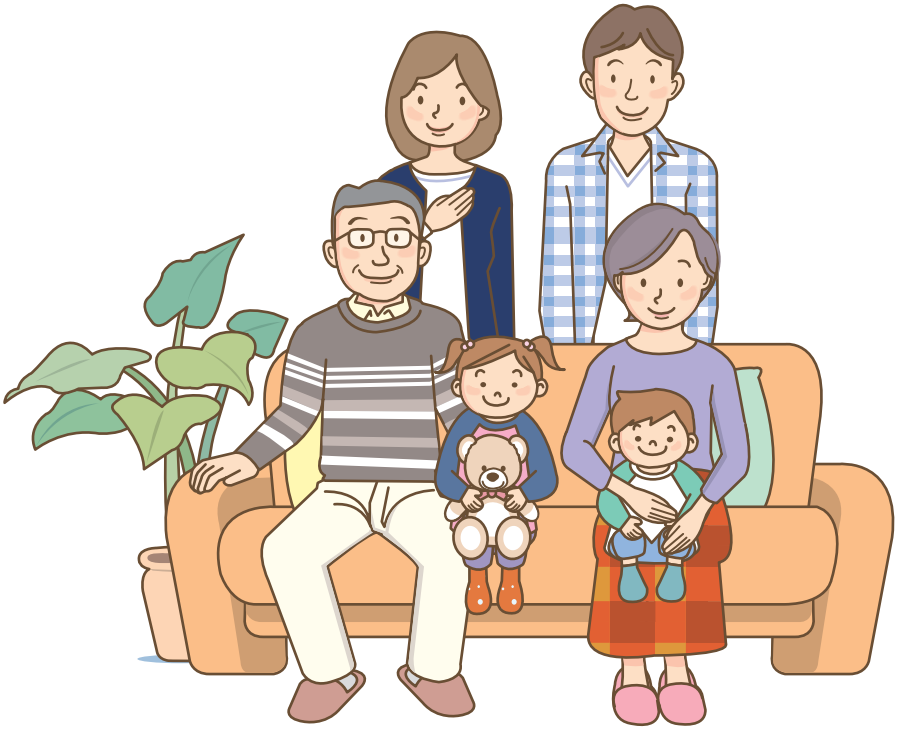
～肝硬変～

入院で
トルバプタンOD錠/顆粒「トーワ」
を開始し、
外来で継続服用される方へ



来院されるときに、この記録表を忘れずにお持ちください

トルバプタンOD錠/顆粒「トーワ」について

あなたは肝硬変になることによって、
お腹や足などに余分な水分が溜まりやすくなっています。
この薬は体にたまった余分な水分を尿として排泄することで、
むくみを取り除く薬です。

次のようなことにご注意ください

のどが渇いたら、水分をとるように心掛けましょう。

●この薬を服用すると、尿量が増えて、のどが渇くことがよくあります。
そのような場合には、水分を補給してください。
詳しくは担当医師に相談してください。

必ず体重を測定しましょう。

●あなたの病気の状態を確認するために、医師の指導に従い、毎日決められた時間に体重を測定することが大切です。

薬は決められたとおりに服用してください

服用する量を守りましょう。

ご自身の判断で、服用する量を変えたり、中止したりしないでください。
中止してしまった場合は服用を再開せず、必ず医師に相談してください。
飲み忘れた場合も、同様に医師に相談してください。

以下の点にもご注意ください

●めまい等があらわれることがあるので、転倒に注意してください。
また、高いところでの作業や自動車の運転等危険を伴う機械の操作をする際には注意してください。

●グレープフルーツジュースと一緒に飲まないでください。
同時に飲むと薬の作用が強くなるおそれがあります。

●他の薬を一緒に飲む場合、組み合わせによっては、薬の作用が強く出たり、弱まったり、または副作用が出たりすることがあります。
他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

OD錠を服用されている方へ

この薬は水なしでも飲むことができる口腔内崩壊錠(OD錠)です。

●舌の上で唾液を含ませ軽くつぶしてから、唾液と一緒に飲み込んでください。

●水なしで飲むときは、寝たままでは飲まないでください。

●普通の薬と同様に、水またはぬるま湯で飲むこともできます。どちらの飲み方でも効き目は変わりません。

次のような症状がある場合は、速やかに

ここにあげたこと以外にも薬を飲み始めて体に異常を感じたら、速やかに

脱水症状が疑われるとき

- のどが渇き、水を飲んでも良くならない
- 皮膚・唇・口の中の渇きが急に目立ってきた
- 急激に体重が減った

症状の悪化が疑われるとき

- 体重が短期間で急激に増加した
- 排尿回数や尿量が急に減り、お腹が張ってきた
- 腹部膨満感など腹水に伴う症状が悪化した
- むくみが強くなった

肝性脳症が疑われるとき

- 肝性脳症の症状（集中力がなくなった、昼間に眠く夜に眠れない、計算に弱くなった、場所がわからなくなる、イライラする、気分が不安定）が現れた

このような場合には、脳の働きが低下した状態になっている可能性があり、適切な水分補給がご自分の意思でできなくなる可能性がありますので、速やかに医師の診察を受けてください。

医師の診察が必要です

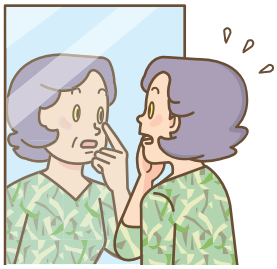
医師の診察を受けてください。

消化管出血が疑われるとき

- 血を吐いた
- 便に血が混じっていた
- 黒い便が出た
- 急に血圧が下がった

肝機能の障害が疑われるとき

- 皮膚や白目が黄色くなった
- 強い疲労感を感じた
- 食欲が低下した
- 以上の症状がもともとある場合で、これらが急に強くなった



体重記録表

この薬を飲むときの注意点をまもり、
毎日決められた時間に体重を記録しましょう。

[_____ 時測定]

1週目		2週目	
日付	体重	日付	体重
／ ( )	kg	／ ( )	kg
／ ( )	kg	／ ( )	kg
／ ( )	kg	／ ( )	kg
／ ( )	kg	／ ( )	kg
／ ( )	kg	／ ( )	kg
／ ( )	kg	／ ( )	kg
／ ( )	kg	／ ( )	kg

次回の来院予定は　　月　　日　　曜日　です。

薬の効果や安全性、血液成分を調べたり、あなたの病状を確認する
必要がありますので、決められた日には必ず来院してください。

3週目

日付	体重
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg

4週目

日付	体重
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg
／ ( )	kg

来院されるときに、この記録表を忘れずにお持ちください

ご家族（介護者）の方へ

※下記の注意事項を守っていただくため、患者さんがご高齢の場合など、必要に応じてご家族（介護者）の方の介助をお願いいたします。

1. のどが渇いたら、水分をとることを心掛けていただきますようお願いします。詳しくは担当医師に相談してください。

2. 毎日の体重測定は、ご家族(介護者)の方が一緒にご確認いただきますようお願いします。

3. 体重が短期間で急激に増加した、あるいは減少した場合は、医師の診察を受けるようにしてください。

4. いつもより飲水量が目立って増加した、皮膚や唇・口の中の乾燥が目立つ、むくみが強い、呼吸が苦しそう、めまいや立ちくらみがあるなどの症状に気付かれた場合は、医師の診察を受けるようにしてください。

5. 医師より塩分制限などの食事管理の指導があった場合は、食事管理にご協力をお願いします。詳しくは担当医師に相談してください。

6. 強い倦怠感が出た、吐き気や食欲が低下した、皮膚や白目が黄色くなった、尿が茶褐色になったなどに気付かれた場合は、医師の診察を受けるようにしてください。

東和薬品株式会社

2022年12月改訂(C-2)
DC-001929_02